



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- 新年度のご挨拶…………… P1 ■ 「発達支援センターリエール」開所…………… P2
- せせらぎ会・希望のバトン…………… P3 ■ 明大チャリティーアート展・行事予定…………… P4

新年度のご挨拶

藤沢北地域福祉部統括 村井 良行

この度、藤沢北地域福祉部部門統括となりました「村井良行」です。どうぞよろしくお願いいたします。
私は光友会に入職した年が平成4年4月なので30年間光友会に在籍しています。その間11年間湘南希望の郷で勤務しました。その経験を活かしながら、ご期待に添えるよう一路邁進いたしますので、皆様におかれましては、ご支援賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

2022年度の事業計画の重点目標として、入居者の方々の生活を少しでも明るく豊かなものにする事を念頭に置き、新型コロナウイルス感染防止、アセスメントを重視して、意思決定支援について一層力を注いで行きます。今年もコロナウイルス感染対策をしっかり行いながら、タイムリーな情報を希望通信でお届けできるよう職員一同努力して参ります。



新年度のご挨拶

施設長 二見 弘樹

4月より施設長を務めさせていただくことになりました二見弘樹と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

覚えてくださっている方もおられると思いますが、希望の郷は私の福祉人生の始まりの場所であり、1996年から2015年まで生活支援員として務めさせていただきました。希望の郷での19年間は住人の皆さま、ご家族の皆さま、職員皆に助けられ、楽しく働くことができたかけがえのない時間でした。その後は藤沢市鵠沼海岸にある生活介護事業「藤沢市太陽の家藤の実学園」の園長をさせていただきました。

さて、前任の藤の実学園においてもここ2年の間新型コロナウイルスのまん延防止に奮闘する毎日でした。希望の郷においても同様に支援プログラムの変更等、大きな影響を受けている事と思います。



コロナ禍の中ではありますが、「コロナだから出来ない」ではなく、出来ることを職員一同で考えながら、住人の皆さまが少しでも充実した毎日を送ることが出来るようご支援できればと考えております。

皆さまのご支援をいただきながら、より良い施設に成長していけるよう努力してまいりますのでお付き合いの程、よろしくお願いいたします。

「発達支援センターリエール」開所

湘南希望の郷の以前「短期入所」を行っていたエリアがリニューアルし、自閉症支援を目的とした「発達支援センターリエール」が4月1日開所いたしました。また新たな試みにご理解とご支援を賜りたく、リエールのご紹介をいたします。

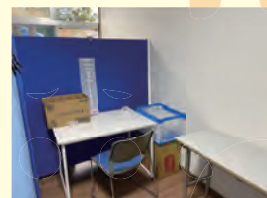
藤沢市という地域で「実直」に自閉症支援をしたいという想いから「発達支援センターリエール」は誕生しました。リエールでは自閉症の特性を理解し、アセスメント（評価）に基づき、その人に沿った、多様な自閉症支援を実直に行い、その人らしい生活を、自らの力でつくっていただけるように支援していきます。

ただこうした支援を実現していく上で、ご家族の協力は欠かせません。日々の支援の共有をはじめ、家族会や他団体と連携し、ご家族同士での繋がりや学びの場をつくり、ご本人の生活の幅を広げていきます。また直接的な支援だけではなく、ご本人にとって必要な資源を繋ぐ、調整機能も担い、地域生活をトータルのサポートできるようにしていきたいと考えております。そのためには職員の支援力向上もリエールのとっ

発達支援センターリエール 所長 尾上 義和

ては欠かせない機能の一つです。外部研修、内部研修などにも積極的に取り組み、その人に必要な支援を提供していきます。

4月1日にリエールは開所しました。これからたくさんの方々に利用していただき、支援実践を積み上げ、地域に還元し、実直な自閉症支援が広がっていくことを切に願い、リエールの紹介の結びとさせていただきます。



虐待防止と身体拘束適正化の更なる推進について

2012年4月1日に障害者虐待防止法が施行され10年が経過しました。

法律が施行されてからも虐待や虐待が疑われる事例は減少することなく数値データは増加傾向にあります。

こうした状況を踏まえて2022年度より障害者を支援する事業所は、運営にあたって行わなければならない事項や留意すべき事項を記した運営基準に虐待を防止するための措置を義務として盛り込むことになりました。

具体的には「従業員への研修の実施」「虐待防止のための対策を検討する虐待防止委員会の設置と従業員

への周知徹底」「虐待の防止のための責任者の設置」が義務化されることになりました。

また、身体を拘束する対応についても①身体拘束する際には必要な事項を記録すること②適正な対策を検討する委員会開催とその結果について、従業員に周知徹底を図ること③指針を整備すること④従業員に研修を実施することが運営基準に追加されることになりました。

湘南希望の郷においても虐待防止と身体的拘束の適正化については最重要課題として位置づけ、真摯に取り組んでいきます。

湘南希望の郷 役職配置 人事異動について

令和4年度組織運営にあたり、下記の通り役職配置及び、人事異動がありましたのでお知らせいたします。よろしくご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

藤沢北地域福祉部	部門統括部長	村井 良行
藤沢北地域福祉部	部長（施設長）	二見 弘樹
藤沢北地域福祉部	部長	山本 啓子
藤沢北地域福祉部	課長	岩永 大
藤沢北地域福祉部	課長（健康・栄養・理療担当）	野池由美子

せせらぎ会だより

目には青葉山ほととぎす初鯉 (山口素堂)

風薫る五月。まさに、「目には青葉山ほととぎす初鯉」と、一句よみたい心境です。ちなみに、山口素堂(1642年～1716年)は、江戸時代の俳人です。冒頭の俳句は、前書きに「かまくらにて」と、あるがこれは徒然草第百十九段の「鎌倉の海に鯉と云う魚・・・」をふまえてのものだということです。いずれにしても、江戸時代に詠まれた十七文字の俳句が、今も色褪せることのない美しい初夏の鎌倉風景をあまねく描き出してい

る一点に感動すら覚えます。目には青葉(視覚)・山ほととぎす(聴覚)・初鯉(味覚)と、視覚だけでなく、三つの季語が全身に語りかける心地よい感性は、お見事と云う他にはありません。さて、鎌倉の地に負けず劣らずの景勝地、湘南エリアに居を構える湘南希望の郷。来たる6月1日は、コロナ禍のなか開所36周年の佳節を迎えます。この2年の間、コロナ禍で失われた当たり前の日常が、いかに尊いものかと云うことを身をもって再認識する歳月になりました。本年度、二見弘樹新施設長を迎え新体制のもと、この困難な時代を真に意味あるものに変革すべき、新たなビジョンとチャレンジ精神を共有しながらも、愚直により良い郷づくりに勤めて行きたいと思います。

文責:自治会 (K.I)



違法駐車減少で安心な街づくりを

藤沢南部地域福祉部 藤の実学園 関 隆一

田中哲朗職員からバトンをいただきました関隆一です。簡単な自己紹介をさせていただきますと、光友会に入職してから湘南希望の郷でお世話になり、その後、いくつかの部署で学んでから現在の部署である藤沢市太陽の家藤の実学園に着任しました。

今回は、私と父の思い出話からのエピソードを紹介したいと思います。

私が20代の頃は、F1やラリーなどモータースポーツが盛んで、とても人気がありました。

そんな影響を受けてか自動車を所有する人が多く、私の友人はそれぞれパジェロ、シルビアRX-7、シビックなど人気のあった車種を購入し、私自身も中古のセドリックでドライブなどを楽しんでいました。

当時、私が住んでいた地域も含めて住宅街での路上駐車が多く見られ、路上駐車への取り締まりは行われるものの、いたちごっこ状態が続いていました。そのため救急車や消防車などが入り難いことなどから安全性の問題や景観の悪さが問題となっていました。懸命な取り締まりから路上駐車は減っていききました。

先日、帰省した際、父親とそんな思い出話をしていると、今では路上駐車はほとんど無くなって、その中でも駐車する自動車は病院や施設への送迎車で、たまに救急車くらいだとのこと。その話から時代の移り変わりを感じるとともに今後の福祉・医療についてしっかり検討して誰もが安心して暮らしていける街づくりが重要であると感じることとなりました。

それではバトンを湘南希望の郷で一緒に働いていた松本綾子職員に渡したいと思います。

藤沢北地域福祉部	課長補佐	下条 隆史
藤沢北地域福祉部	課長補佐	大久保 真
藤沢北地域福祉部	チームリーダー	田中亜紀子
藤沢北地域福祉部	チームリーダー	阿部 誠
藤沢北地域福祉部	チームリーダー	広田 勝紀

新人紹介

上原 智さん



福祉・介護の分野での経歴は全くありませんが、今までの経歴をフルに活かして頑張りたいと思います

石井 香織さん

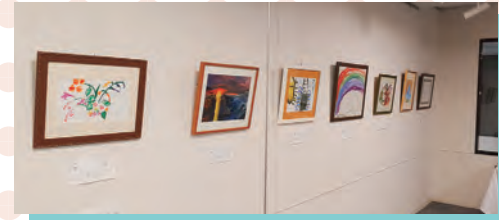
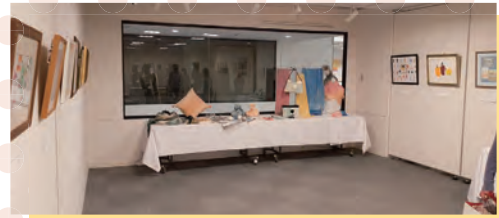


早く皆さんと仲良くなりたいです。

明大チャリティーアート展

アクティビティ美術プログラムのメンバーが描いた作品を出展した展覧会「第17回明大チャリティーアート展」が3月29日から4月3日まで藤沢市民ギャラリーにて開催されました。

今回も新型コロナウイルス感染防止のため作品のみの参加となりましたが、出展した力作をたくさんの方に鑑賞していただくことができました。



献立委員会



希望の郷周辺の桜は3月下旬ごろ満開を迎え、寒暖の起伏があったせいか花も長持ちしてしばらくの間楽しむことができました。この時期はすっかり恒例となった食とともに春を楽しむ日として心待ちにしていた「お花見弁当」が登場です。4月6日、郷の桜もいささか満開は過ぎていたものの、花びらの絨毯でピンク色に染まっ

た中庭を眺めながらの昼食となりました。蓋を開けると、揚げ物・煮物・果物と彩り豊かで豪華な盛り付けに思わず「おいしそー！」お弁当の感想をこちらから聞かなくても「たくさんおかずが入っていてどれから食べようか迷っちゃったよ」とか「美味しかった～おなか一杯になったよ」とか皆ニコニコ顔でお話をしてくれました。春のピクニック気分のお弁当、一段とおいしいですね



◆5・6月の予定◆



健康課より

5月の予定

藤沢病院 石井Dr.来診	12日(木)
厚誠会歯科検診	10日(火)17日(火) 24日(火)31日(火)
御所見病院 多田隈Dr.来診	11日(水)25日(水)

6月の予定

藤沢病院 石井Dr.来診	2日(木)
厚誠会歯科検診	7日(火)14日(火) 21日(火)28日(火)
御所見病院 多田隈Dr.来診	8日(水)22日(水)

編集後記

私は写真を趣味としていますが、その中でもやはり煌びやかな花々を撮るのが好きです。ここ希望の郷の周辺は季節ごとに色んな花が咲きます。満開の桜に可愛い菜の花、雨に濡れる紫陽花、艶やかな彼岸花。一眼レフカメラを持って、今年のその花の一番美しい姿を撮りたい！これが醍醐味以外の何物でもありません。まもなく開く紫陽花をバックに入居者さんの大きな笑顔を撮るのもまた今から楽しみだな・・・！

(R・M)